

# 八街市新総合計画に関する提言書

平成16年5月23日

八街市まちづくり市民会議



## 目 次

I . 八街市の基本理念についての提案 .....	1
II . 八街市の将来都市像についての提案 .....	2
III . まちづくりについて重視すべき点の提案 .....	3
IV . 施策行政分野別の提言 .....	4
1 . 土地利用・都市基盤 .....	4
(1) 計画的な土地利用の推進に関する事	4
(2) 鉄道・バスの充実、駅の整備に関する事	4
(3) 道路の整備に関する事	4
(4) 上下水道整備に関する事	4
2 . 生活環境 .....	5
(1) 自然環境の保全に関する事	5
(2) 公園の整備・緑化の推進に関する事	5
(3) ごみ・環境保全に関する事	5
(4) 防犯に関する事	5
(5) 交通安全に関する事	5
3 . 産業経済 .....	6
(1) 農業の振興に関する事	6
(2) 工業の振興に関する事	6
(3) 商業の振興に関する事	6
(4) 観光の振興に関する事	6
4 . 地域文化 .....	7
(1) 学校教育・社会教育に関する事	7
(2) 文化に関する事	7
(3) 青少年の健全育成に関する事	7
5 . 健康福祉 .....	8
(1) 保健・医療に関する事	8
(2) バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する事	8
(3) 高齢者福祉に関する事	8
(4) 児童福祉に関する事	8
6 . 行政 .....	9
(1) 住民参加に関する事	9
(2) 財政効率化・市町村合併に関する事	9



・ 八街市の基本理念についての提案

【提案 1】

- ふるさとを守り育てるまちづくり
- 未来に継承する活力あるまちづくり
- 心安らぐ、文化の薫り高いまちづくり
- 市民と行政が共に創るまちづくり

【提案 2】

ふるさとを守り育て、活力や文化の薫りに満ち、  
心安らぐまちづくりを、市民と行政の協働により進めます。

◆ それぞれの文言の表す意味

- ・ ふるさとを守り育てる・・・基盤整備の推進、自然との共生
- ・ 未来に継承する活力ある・・・産業の育成・継承
- ・ 心安らぐ・・・生涯にわたる健康・福祉の増進
- ・ 文化の薫り高い・・・八街文化の創造
- ・ 市民と行政が共に創る・・・市民と行政の協働

◆ 提案理由

以下のような視点から、文言を選択した。

- ・ 八街市の持つ緑、助け合いの心、ゆったりしたものを大切にしながらも、都会の持つきらきらした要素(文化)についても求めていきたい。
- ・ 先人の開墾の歴史を考えると、「引き継ぐ」という言葉を大切にしたい。守るだけでなく、次世代に引き継ぐまちを「創る」事が大人の責任である。
- ・ 市民・行政の両者がまちづくりの当事者であり、お互いが協力し合い、まちづくりを進めていくべきである。

・ 八街市の将来都市像についての提案

ひと・まち・みどりが輝く ヒューマンフィールドやちまた

◆ それぞれの文言の表す意味

- ・ ひと・・・市民一人ひとりの自立した生活
- ・ まち・・・人と人とがつながり支えあうまち
- ・ みどり・・・美しい自然環境
- ・ 輝く・・・活動的でいきいきとした様子・未来に向かって前進する様子
- ・ ヒューマンフィールド・・・すべての人が安全で安心して暮らせる、自然と共生する個性あふれた都市

◆ 提案理由

以下のような視点から、文言を選択した。

- ・ 「ヒューマンフィールド」という言葉は、一言で多くの深い意味を表せる言葉であるので、このまま継承する。  
(注) ただし、誰にでもその意味するところを理解してもらうため、使用するときは都度注釈をつけたほうが良い。
- ・ 「ヒューマンフィールド」自体が多くの意味を持つ言葉であるので、前につける言葉はシンプルで、その意味を補完する表現とした。「ひと・まち・みどり」3つの言葉は、八街市を構成する要素の代表である。

・まちづくりについて重視すべき点の提案

1. 自然、緑は本市特有の資源であり、これらを保存し、活かしたまちづくりを進める。

2. 基盤整備は生活する上で不可欠のものであるので、計画的な整備を進める。

3. 誇れる農産物があることを最大限に活かした、個性あふれるまちづくりを進める。

4. すべての人が生涯にわたって安心して暮らせるまちづくりを進める。

5. 市民と行政の協働によるまちづくりを進める。

・ 施策行政分野別の提言

1 . 土地利用・都市基盤

(1) 計画的な土地利用の推進に関すること

- ・ 千葉、佐倉、成田、東金と各都市の中核にある八街を立体的、かつ広域的視点からその位置をもう一度確認。八街駅北口開発、榎戸駅副都市圏、その他道路、鉄道、バス等の交通網、歩行者道路などの整備を早期に整え、その地の利を活かすべきである。
- ・ 農業、宅地、山林、公園、道路等、調和のとれた安住できる土地利用を進めるべきである。
- ・ 基盤整備は住むためにどうしても必要であるので、20年先を見越して整備する必要がある。
- ・ まちの核の部分(八街駅・榎戸駅等)に用が足せる機能を整備してほしい。
- ・ 市街化区域・調整区域の線引きを検討する必要がある。

(2) 鉄道・バスの充実、駅の整備に関すること

- ・ 総武本線の早期複線化、増便、快速化による利便性の向上を図る必要がある。
- ・ ふれあいバスの増便、運営工夫による待ち時間の短縮を検討して欲しい。
- ・ 八街駅周辺では、駅南の既成市街地の再開発整備と活性化を推進する必要がある。
- ・ 榎戸駅については、北口開設、東側に自由通路、エレベーター設置、踏切の改善などを希望する。

(3) 道路の整備に関すること

- ・ 国道、県道等主要道路については、拡幅、交差点・歩道・信号の整備が必要である。
- ・ 生活道路については、歩道の整備、電柱の撤去・地中化、制限速度の規制、一方通行を増やすなど、歩行者や自転車にやさしい、安心できる道路の整備が必要である。
- ・ 道路の整備は、住民の声を聞き、現場を市の担当の方がよく見て、優先順位をつけて実施すべきである。

(4) 上下水道整備に関すること

- ・ 上下水道の普及率があまりに低いので、上下水道の整備を迅速に行うべきである。

## 2 . 生活環境

### (1) 自然環境の保全に関すること

- ・限られた緑、水、土地等の環境を保全する必要がある。
- ・八街市のふるさとの風景として、学校、公園、寺社あるいは農家等の大木、古木などのたたずまいを残して欲しい。
- ・基盤整備を進める際も、コンクリートを避け、自然を活かす工夫をする必要がある。

### (2) 公園の整備・緑化の推進に関すること

- ・自然公園や里山を有効活用したハイキングコース、キャンプ場周辺の散策道路などを整備して欲しい。
- ・管理の行き届かない放置された土地を活用し、手づくりの公園化を図ったらどうか。
- ・公園整備においては、花時計をつくる、桜の名所とする、自然や動物とふれあえる場とするなど、人が集まる工夫をして欲しい。

### (3) ごみ・環境保全に関すること

- ・リサイクルを推進し、ごみの総量を抑制する必要がある。
- ・ごみの不法投棄を防止するため、市民意識の向上を図る必要がある。
- ・騒音・悪臭など公害を未然に防止する必要がある。

### (4) 防犯に関すること

- ・警察署の設置、警察官の増員、防犯灯の増設など、防犯、防災対策の強化による安心して住めるまちづくりを推進する必要がある。

### (5) 交通安全に関すること

- ・小学校区毎に住民主導で交通安全対策を実施してもらい、成果をあげているところには表彰する制度を設けたらどうか。

### 3. 産業経済

#### (1) 農業の振興に関すること

- ・ 農業振興を図るため、後継者対策、法人化などを推進することにより、高齢者や家族労働の負担を減らし、雇用の確保につなげることができる。
- ・ 市内に立地する農業関係の民間企業との連携を図ったらどうか。
- ・ 安心して食べられる無農薬の野菜作りを推進して欲しい。
- ・ 県内有数の農産地としての誇りを持ち、落花生やにんじん等で八街の名を全国にアピールする必要がある。
- ・ J A、商工会議所と市、市民が意見交換を図り、振興策を考えたらどうか。
- ・ ほこり対策として遊休地にレンゲなどの花を植えたらどうか。
- ・ 全国ブランドである“ピーナッツ”を活かし、道の駅、記念館、落花生村、落花生加工商品ショップ、アンテナショップなどを整備し、地産地消を推進したらどうか。

#### (2) 工業の振興に関すること

- ・ 成田空港を活かした企業の誘致、臨空工業団地の整備を図ったらどうか。

#### (3) 商業の振興に関すること

- ・ 既成市街地、主要道周辺商店街について、若者が楽しめて、かつ高齢化社会に対応する再開発を行い、商業振興を図る必要がある。
- ・ 市民が得た富（給料、収入他）を市内で消費できるようにする。

#### (4) 観光の振興に関すること

- ・ 若い人が来る活力あるまちとするため地域資源を活かした観光振興を図る。
- ・ 根古谷、岡田、用草地区等の日本の原風景のような環境をこわさず、親しむ方法を検討して欲しい。
- ・ 八街の自然資源であるホタル、ザリガニ、カワセミ、カタクリ、つくしなどを活かしたらどうか。
- ・ 空き地にレンゲやなのはななどの花を植え、その中で弁当が食べられるようにしたり、バーベキューが出来るところの整備を進めてもらいたい。

## 4 . 地域文化

### (1) 学校教育・社会教育に関すること

- ・ 幼稚園から大学までの一貫教育の導入を検討したらどうか。
- ・ 教育レベルのアップを目指すため、高校や大学を誘致し、学園都市化を進めたらどうか。
- ・ 社会教育施設の充実を図り、生涯学習を推進する必要がある。
- ・ 博物館など県レベルの運営施設の誘致を図って欲しい。
- ・ 高齢者も楽しめるスポーツジム、講演会や演芸等のできる諸娯楽施設を備えた多目的ホールを交通の便の良い場所につくったらどうか。
- ・ スポーツプラザに隣接してプールや入浴センターがある施設等の整備を希望する。

### (2) 文化に関すること

- ・ 音楽、演劇、講演など、文化芸術を振興させていくに相応しい文化施設を建設、整備していくべきである。

### (3) 青少年の健全育成に関すること

- ・ 学校の教室、公民館、コミュニティセンターなどを活用した地域子ども教室を実施し、子どもの居場所づくりを推進して欲しい。
- ・ ご近所力をシステム化し、地域社会と子どもの係わりあいを深めたらどうか。
- ・ 自然や動物を愛し、郷土を愛し、弱者にやさしい青少年を育成する。

## 5 . 健康福祉

### (1) 保健・医療に関すること

- ・ 中核病院の整備を進めて欲しい。
- ・ 市内に救急医療センター（重篤な患者、小児受入れも含む）を早急に設置し、また、救急車の台数を増やすなど、救急医療体制の整備を図って欲しい。
- ・ 健康指導、予防医学やボランティアとの連携など、創意工夫による保健活動を推進したらどうか。

### (2) バリアフリー・ユニバーサルデザインに関すること

- ・ ユニバーサルデザインを取り入れたバリアのない計画的なまちづくりを推進する必要がある。
- ・ 高齢者や障害者に負担のかからず、安心して住める、弱者に優しいまちづくりを推進する必要がある。
- ・ 道路整備において、両側に歩道用地が確保できない場合は、片側だけの整備を検討したらどうか。

### (3) 高齢者福祉に関すること

- ・ 高齢者が健やかに老い、人生を全うできるよう楽しく、安心して、安全に暮らせるよう福祉施設の充実を図る必要がある。
- ・ 高齢者に生きがいを与える事業として、市の施設の管理を委託することなどを実施したらどうか。

### (4) 児童福祉に関すること

- ・ 子供達や母親の交流の場として児童館の整備を希望する。

## 6 . 行政

### (1) 住民参加に関すること

- ・市民自らが働いて住みやすいまちをつくる市民によるまちづくりや、市民と行政の協働によるまちづくりを推進する必要がある。
- ・まちづくりについて、ボランティアや公民館活動をしている人たちのノウハウを汲み上げたらどうか。
- ・市民参画のきっかけとして、例えば、農家から遊休地を借り、自力でミニ公園をつくるなど、やりやすいところから市民が取り組んだらどうか。

### (2) 財政効率化・市町村合併に関すること

- ・貴重な財源の有効活用を図る必要がある。
- ・長期的な財政計画に基づく財政運営を実施する必要がある。
- ・国や県をうまく使った施設整備などを推進したらどうか。
- ・市町村合併による行政効率化と財政基盤の確立について検討する必要がある。

## 八街市まちづくり市民会議委員名簿

	住 所	氏 名
1	希望ヶ丘	井上 正記
2	朝日	三上 淳
3	大関	南 加代子
4	八街ほ	岩瀬 松治
5	八街に	笹間 幸雄
6	八街は	金丸 恭夫
7	富山	行方 洋己
8	八街ほ	原 弘行
9	八街ほ	松本 植
10	泉台	佐藤 利代子
11	泉台	治部 登美子
12	泉台	小川 陽子
13	大木	小川 定子
14	希望ヶ丘	石川 孝
15	希望ヶ丘	角田 慶子
16	勢田	竹田 はる子
17	八街ろ	内藤 二三雄
18	八街ろ	小川 政江
19	榎戸	井野 トモ
20	泉台	玉重 真智子
21	泉台	川島 信子
22	泉台	加計 春子
23	大谷流	見代 君代
24	八街ろ	高橋 誠一